

# 抗菌・抗ウイルス対応手すり ～手すりから接触対策を～



**SIAA**  
ISO 21702  
抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます

無機系・練込  
表面層  
JP0613165X0001E

SIAAマークはISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

！注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAAの安全性基準に適合しています・抗ウイルス加工部位「表面層」とは手すり表面を指します。

SIAAは抗ウイルス性能に対しての認証です。

## トイレ・洗面所用補助手すり

34Ø

### ■YMカラープロテクトレーリングシリーズ



### ■YMプロテクトグリップシリーズ



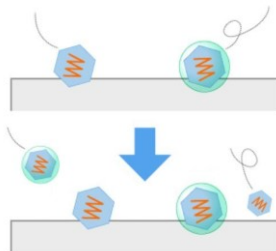
手すりなど身近な手に触れるものに対し、注意を払うことは重要です。



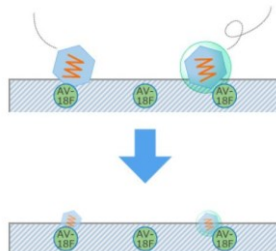
高温多湿の日本の風土は、カビや細菌の発生に適した条件を備えています。不特定多数の人々が触れる環境下では、その接触到危険性をはらんでいます。

日常使用する生活用品である手すりに抗菌・抗ウイルス加工を施すことにより、細菌やウイルスの拡がりを抑えることができます。

抗ウイルス処理なしの製品表面



抗ウイルス処理済の製品表面



※イメージです

※抗菌・抗ウイルス手すりは、すべての細菌やウイルスに対して効果を保証するものではありません。

# ワイエム工業株式会社

本社・工場  
 大阪市平野区加美西1丁目9番7号  
 〒547-0005  
 本社  
 tel 06-6795-5353 fax 06-6792-1695  
 工場  
 tel 06-6792-1031 fax 06-4303-1152

札幌営業所  
 札幌市東区北45条東19丁目4番5号  
 〒007-0845  
 tel 011-789-5071  
 fax 011-789-5072

盛岡営業所  
 岩手県盛岡市前九年1丁目9番35号  
 〒020-0127  
 tel 019-648-8530  
 fax 019-601-7400

仙台営業所  
 宮城県仙台市若林区白萩町20番18号  
 〒984-0048  
 tel 022-238-7782  
 fax 022-238-7783

東京営業所  
 東京都墨田区緑3丁目7番17号  
 〒130-0021  
 tel 03-3634-6632  
 fax 03-3634-6663

横浜営業所  
 横浜市緑区十日市場町876番地1  
 〒226-0025  
 tel 045-272-1226  
 fax 045-272-1505

名古屋営業所  
 名古屋市緑区鳴海町字中汐田262番地  
 〒458-0801  
 tel 052-622-8278  
 fax 052-622-8288

大阪営業所  
 大阪市平野区加美西1丁目9番7号  
 〒547-0005  
 tel 06-6792-1350  
 fax 06-6792-1698

広島営業所  
 広島市西区中広町2丁目1番14号  
 〒733-0012  
 tel 082-291-1323  
 fax 082-291-2287

福岡営業所  
 福岡市東区箱崎1丁目23番5号  
 〒812-0053  
 tel 092-643-8878  
 fax 092-643-8901

旭川出張所  
 旭川市豊岡12条3丁目3番21号  
 〒078-8242  
 tel 0166-38-6161  
 fax 0166-38-6180

鹿児島出張所  
 鹿児島県霧島市隼人町内668番6号  
 〒899-5116  
 tel 0995-43-1578  
 fax 0995-42-7709

■抗ウイルス性試験（試験実施機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構）  
 試験方法 ISO 21702：2019 洗い出し液：S C D L P培地

## 試験結果

■ウイルスA（エンベロープあり）に対する抗ウイルス性能評価結果（24時間接触）  
 耐光処理【区分1】（抗菌製品技術協議会持続性基準）  
 試験ウイルス液濃度：1.6 × 10<sup>7</sup> PFU/mL

試料名	ウイルスカ価の常用対数値	
	接種直後 [U <sub>0</sub> ]	24時間後 [U <sub>t</sub> ]
無加工品	5.53	3.94

試料名	ウイルスカ価の常用対数値 [A <sub>t</sub> ]	Antiviral activity
YM手すり用抗ウイルス性樹脂	<0.80	3.1

■ウイルスB（エンベロープなし）に対する抗ウイルス性能評価結果（24時間接触）  
 耐光処理【区分1】（抗菌製品技術協議会持続性基準）  
 試験ウイルス液濃度：3.4 × 10<sup>7</sup> PFU/mL

試料名	ウイルスカ価の常用対数値	
	接種直後 [U <sub>0</sub> ]	24時間後 [U <sub>t</sub> ]
無加工品	6.00	4.71

試料名	ウイルスカ価の常用対数値 [A <sub>t</sub> ]	Antiviral activity
YM手すり用抗ウイルス性樹脂	<0.80	3.9

(注1) 試験液摂取量：0.4 mL（被覆フィルムの表面：16 cm<sup>2</sup>）

(注2) 試験は依頼者指定面で行った。

(注3) 前処理として、耐光処理【区分1】（キセノンアーク灯10時間）を行った。

[参考]

算出方法：Antiviral activity = U<sub>t</sub>/A<sub>t</sub>

※遺伝子であるDNAやRNAの周りにカプシドと呼ばれるタンパク質の殻で覆われています。さらにその周りに外皮膜（エンベロープ）と呼ばれる脂質膜で覆われたものも存在します。エンベロープありのウイルスの代表としてウイルスA、エンベロープなしのウイルスの代表としてウイルスBとしました。  
 ※抗菌試験 R<sub>F-L</sub>、抗ウイルス試験 Antiviral activity 値 2.0 以上は 99%以上の減少を表しています。



■抗菌試験（試験実施機関：一般財団法人カケンテストセンター）

試験方法 JIS R 1752:2020、フィルム密着法

供試菌 黄色ぶどう球菌・Staphylococcus aureus NBRC12732 大腸菌・Escherichia coli NBRC3972

照度 500 lx シャドカットフィルムの種類 タイプB 事前照射条件 1mW/cm<sup>2</sup>、24時間 試験時間 8時間

## 試験結果

■黄色ぶどう球菌

試料No.	試験片の種類	前処理条件	log(A)	log(B <sub>F-L</sub> ) または log(C <sub>F-L</sub> )	log(B <sub>0</sub> ) または log(C <sub>0</sub> )	R <sub>F-L</sub>	ΔR
① -1	加工試験片	-	-	<1.00	<1.00	3.2	0.4
-2	無加工試験片	-	5.42	4.22	3.85	-	-

■大腸菌

試料No.	試験片の種類	前処理条件	log(A)	log(B <sub>F-L</sub> ) または log(C <sub>F-L</sub> )	log(B <sub>0</sub> ) または log(C <sub>0</sub> )	R <sub>F-L</sub>	ΔR
① -1	加工試験片	-	-	<1.00	<1.00	4.3	0.0
-2	無加工試験片	-	5.25	5.27	5.28	-	-

注\* log(A)：無加工試験片の接種直後の生菌数（個/試験片）の平均値の常用対数。  
 log(B<sub>F-L</sub>)：無加工試験片の照射後の生菌数（個/試験片）の平均値の常用対数。  
 log(C<sub>F-L</sub>)：加工試験片の照射後の生菌数（個/試験片）の平均値の常用対数。  
 log(B<sub>0</sub>)：加工試験片の暗所保存後の生菌数（個/試験片）の平均値の常用対数。  
 log(C<sub>0</sub>)：無加工試験片の暗所保存後の生菌数（個/試験片）の平均値の常用対数。

R<sub>F-L</sub>：抗菌活性値

ΔR：光照射による抗菌活性値

